# (1) 平成27年度森林環境税活用事業について

	施策区分	事業区分	事業費 (千円)	担当課室
I災害に	1 荒廃森林の機能回復	1 荒廃人工林緊急整備事業 ①流木被害森林緊急整備事業 (H25~) ②間伐放置林等緊急整備事業 (H18~) ③再造林放棄地緊急整備事業 (H18~)	26, 479	森林整備室
強く		2 急傾斜地崩壊危険区域緊急伐採事業 (H27~)	9,000	砂防課
`		3 竹林環境改善整備事業(H22~)	24, 767	森との共生推進室、林産振興室
生物	2 荒廃里山林の整備と 利活用	4 県営都市公園里山利活用推進事業 (H26~)	2, 921	公園·生活排水課
多 様	791070	5次世代につなぐ景観資源再生事業 (H27)	12, 355	景観・まちづくり室
性に		6 魅力ある景観づくり推進事業(H23~)	8, 488	景観・まちづくり室
配慮		7 森林シカ被害防止対策事業 (H20~)	60, 102	森との共生推進室
した	3 獣害対策の推進	8 おおいた生物多様性保全事業 (H22~)		
森林		絶滅危惧種保護活動事業(H24~)	2, 520	生活環境企画課
の整		奥山地域植生等調査(H22~)		
備	4 森・川・海をつなぐ 流域環境の整備	9 森と海をつなぐ環境保全推進事業 (H18~)		廃棄物対策課
	Viu-AVACATE Viii	10 森と海のつながりの研究事業等 (H26~)	3, 537	農林水産企画課
		計.	151, 515	
Ⅱ低炭素社	1 健全な人工林資源の 再生	1 再造林促進事業(H22~)	70, 200	森林整備室
会に	2 未利用資源の有効	2 県産竹材利用促進事業(H21~)	4, 300	工業振興課
向 け t-	利用	3 竹産業等振興対策事業 (H24~)	333	林産振興室
た森林資源		4 大分県竹工芸海外販路開拓事業 (H25~)	3,600	商業・サービス業振興課
資源の		5 スギ丸太等海外輸出促進事業(H21~)	6, 209	
確保と	3 木材の需要拡大	6 地域材活用住宅建設促進事業(H23~)	1,626	林産振興室
循環		7 C L T 利活用等促進 (H26~)	2, 569	
利 用		計	88, 837	
		1 森林づくりボランティア活動促進事業	22, 941	
	1 森林ボランティア	(1) 森林づくりボランティア支援センター事業 (H18~)	3, 466	
	活動の推進	(2) 森林ボランティア活動支援事業 (H18~)	400	森との共生推進室
		(3) 森林ボランティア技術向上事業 (H18~)	1, 305	/// C 1//
		(4) 企業参画の森林づくり推進事業 (H19~)	915	
ш		(5) 森林づくり提案事業 (H18~)	16, 855	
県		2 森林環境教育推進事業	8, 342	
民参		(1) 森の先生派遣事業 (H19~)	4, 141	
加		(2)名樹とのふれあい事業 (H25~)	1,800	森との共生推進室
の輪		(3) 次代の森林づくり活動リーダー育成研修支援事業 (H24~)	700	
を 広		(4) おおいた木育活動推進事業 (H26~)	1701	林産振興室
げ、	2 森林環境教育・木育 の推進	3 祖母山避難小屋トイレ整備事業 (H27~)	13, 332	景観・まちづくり室
次 世	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	4 由布登山口環境整備事業 (H27~)	6, 550	森との共生推進室
代へ		5 森林環境学習促進事業(H18~)	6, 931	社会教育課
つな		6 ごみゼロおおいた作戦推進事業 (H26~)	2, 879	地球環境対策課
での取り		7 豊かな水環境創出事業 (H26~)	7, 377	環境保全課
組		8 観光行政事務指導費 (H26~)		観光·地域振興課
	0 木井動供 の四年	9 「山の日」制定記念祭 (H27~)		生活環境企画課
	3 森林整備への理解と 参加を広げる活動	10 みんなで支える森林づくり推進事業(H18~)	3, 656	森との共生推准室
	. 2 1237	11 おおいたの森林づくり広報推進事業(H18~)	2, 226	
	4 森林づくりに繋がる 新たな取組の支援	12 新たな育林技術等研究開発事業(H18~)	2, 030	森との共生推進室
		計	80, 986	
		合 計	321, 338	

## I 災害に強く、生物多様性に配慮した森林の整備

#### 1. 荒廃人工林緊急整備事業

### ①流木被害森林緊急整備事業

河川沿いにおいて流木の発生が高い森林に対し、スギ・ヒノキ伐採後、ケヤキ等の広葉樹の植栽を行った。

年度	H25	H26	H27	計
実績	57ha	42ha	42ha	141ha







実施前

実施後

### 2間伐放置林緊急整備事業

10年間間伐が行われていない尾根、急傾斜地の森林に対して、伐採率40%以上の間伐を行った。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	計
実績	45ha	145ha	13ha	16ha	1ha	220ha







実施前

実施後

#### ③再造林放棄地緊急整備事業

再造林放棄地の災害発生の防止を図るため、広葉樹の植栽を実施した箇所について、下刈を行った。

### 2. 急傾斜地崩壊危険区域緊急伐採事業

急傾斜地崩壊危険区域に指定された箇所において、倒木や土砂災害に対する住民の不安を緩和するため、 危険木や雑木の伐採を実施した。

〇平成27年度伐採箇所 17箇所







実施前

実施後

### 3. 竹林環境改善整備事業

荒廃竹林を皆伐し広葉樹林へ転換することで、景観の改善が図られた。また、適正本数に間伐することでタケノコ・竹材生産林として再生させることができた。

#### 〈伐竹面積〉

事業区分	目的	H23	H24	H25	H26	H27	計
広葉樹林化	広葉樹林への転換	8.08ha	3.07ha	2.00ha	1.02ha	4.36ha	18.53ha
優良竹林化	タケノコ生産地への転換	12.14ha	15.77ha	14.12ha	13.84ha	9.64ha	65.51ha
優良竹林化	竹材生産地への転換	6.99ha	5.33ha	3.65ha	3.21ha	1.00ha	20.18ha
空港道路整備	沿線の景観改善			2.97ha	1.48ha	2.7ha	7.15ha
計		27.21ha	24.17ha	22.74ha	19.55ha	17.7ha	111.37ha

## 広葉樹林化(伐竹整備、植栽)





実施後

実施前

大分空港道路竹林整備



実施後

優良竹林化







実施前

### 4. 県営都市公園里山利活用推進事業

県営都市公園の里山・竹林を活用し、自然体験・環境学習等を行い、里山・竹林再生の推進と自然環境保全への意識醸成を図った。

年度	事業箇所	開催数	参加者数
H27	大分スポーツ公園(里山)	9回	354人
Π27	ハーモニーパーク(竹林)	4回	227人
H26	大分スポーツ公園(里山)	2回	152人
HZ0	ハーモニーパーク(竹林)	2回	65人
計		17回	798人







カップガーデン

ミニ門松づくり

サンショウウオの池観察







流しそうめん

竹炭・花炭づくり

土壌生物観察

## 5. 次世代につなぐ景観資源再生事業

県内の展望所等において、景観を阻害する雑木等を伐採したことにより、観光客の増加につながり、地域 振興に寄与できた。

実施主体	事業箇所
市町村	空の展望所(佐伯市米水津)、荒瀬橋(宇佐市院内)ほか

### <空の展望所(佐伯市米水津)>





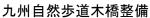
実施前 実施後

### 6. 魅力ある景観づくり推進事業

景観資源を有効活用し、観光振興や地域活力の再生を図るため、老朽化した施設の改修、登山道の整備を行い、登山者の安全性を確保するとともに利用環境の改善を図った。

事業箇所	作業内容	H26	H27	計
九州自然歩道 祖母山登山	木製階段の設置	5段	46段	51段
コース(竹田市)	土留め改修	2箇所	1箇所	3箇所







九州自然歩道標識改修

### 7. 森林シカ被害防止対策事業

シカ防護資材を設置し、林木への被害を防止した。また、シカの捕獲報償金及び効果的な 捕獲技術の検討・普及により捕獲の強化を行い、シカの生息頭数を減少させ、森林の有する 公益的機能の維持増進を図った。

事業区分	H24	H25	H26	H27	計
バークガード設置	5,600枚	5,170枚		500枚	11,270枚
防護柵設置	4,050m	1,750m	2,600m	3,480m	11,880m
シカ有害鳥獣捕獲実績(県計)	23,098頭	25,180頭	31,250頭	34,253頭	113,781頭
うちシカ捕獲報償金(森林環境税事業)	22,733頭	22,026頭	16,485頭	32,976頭	94,220頭
シカ捕獲に対する森林環境税活用割合	98%	87%	53%	96%	83%





#### 8. おおいた生物多様性保全事業

#### (1)絶滅危惧種保護活動事業

絶滅のおそれのある野生動植物の保護措置をNPO等の団体に委託し、活動を支援した。

- ①ハコネシケチシダの保護(生息地見回り、シカネット設置、倒木除去等の生育環境整備)【日田市】
- ②ミヤマキリシマの保護(生育阻害植物の除伐、登山道整備、進入防止用ロープの設置)【九重・飯田高原】

#### (2) 奥山地域植生等調査事業

祖母傾山系地域から日豊海岸の間にある地域において、ニホンジカによる植生の食害状況、植生の現況調査、シカ防護柵実証試験等を実施し、希少植物等の保全策を検討した。



被圧植物の除伐



シカ食害のモニタリング調査

### 9. 森と海をつなぐ環境保全推進事業

地区自治会、NPO等の団体が、ボランティア活動により海岸の漂着流木等を処理した。

事業区分	H23	H24	H25	H26	H27	計
活動団体数	10団体	4団体	5団体	10団体	7団体	36団体
参加人数	2,214人	2,058人	2,171人	3,795人	2,834人	13,072人
処理量	241 m³	65 m <sup>3</sup>	45 m³	714m³	95 m <sup>3</sup>	1,160m <sup>3</sup>



杵築市まちピカ運動推進委員会



天津地域づくり委員会



地縁団体梶ヶ浜

#### 10. 森と海のつながりの研究事業等

世界農業遺産に認定された国東半島・宇佐地域の特徴であるクヌギ林とため池に着目し、上流域にそれらが多い河川(桂川)と少ない河川(伊呂波川)を調査することで、森林域や里域が海域の環境に及ぼす影響について研究した。



水質調査



河川でのウナギ石倉調査



河川での生物調査

## || 低炭素社会に向けた森林資源の確保と循環利用

### 1. 再造林促進事業

森林所有者に皆伐後の再造林を促すとともに低コスト再造林(1,000~2,000本/ha植栽)を広めるため、 林業適地において低コスト再造林を行う場合、森林環境税を活用し、国庫補助に上乗せ助成を行った。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	計
実績	342ha	301ha	484ha	466ha	437ha	2,030ha





再造林促進事業により適正に管理された森林

### 2. 県産竹材利用促進事業

県産竹材の新たな需要拡大に繋げるための人材育成や創業支援によって、竹材利用を促進し、竹林の整備に繋げた。

事業内容	H23	H24	H25	H26	H27	計
竹材利用技術者の養成(研修生)	5名	5名	6名	_	_	16名
研修終了者の作品展の来場者数	730人	600人	812人	_	_	2,142人
貸し工房の入居者	3名	3名	3名	3名	3名	15名
展示会等への出展回数	2回	2回	1回	2回	2回	9回
展示会等の来場者数	約1,100人	約1,040人	約812人	約32,300人	約3,300人	約38,552人



貸し工房入居者の活動



優秀賞作品

最優秀賞作品→

竹文化アートコンペティション展示作品 (潮騒の宿 晴海別府市)

### 3. 竹產業振興対策事業

竹材の新用途開発や消費者への普及・啓発活動を通して竹材需要の開拓を行った。

- ①竹馬・竹とんぼ教室 【農林水産祭】
- ②くらしの中の竹工芸展開催 【別府市竹細工伝統産業会館】



竹とんぼ教室(農林水産祭)



くらしの中の竹工芸展

### 4. 大分県竹工芸海外販路開拓事業

米国におけるブランディング化を促進するため展示会及び販路開拓を行った。

区分	展示会	新商品開発	主な販路開拓先
H27	①「竹工芸企画展・実演」展 ②「竹工芸家ワークショップ」 (アメリカ合衆国サンディエゴ市)	7作品	・JAPANESE FRIENDSHIIP GARADEN (アメリカ合衆国サンディエゴ市)







展示会

実演

新商品

### 5. スギ丸太等海外輸出促進事業

原木価格の底上げを図るため、スギ丸太等の海外販路開拓・需要拡大に取り組んだ。

輸出先	H23	H24	H25	H26	H27	計
韓国	1,501 m³	1,778 <b>m</b> ³	366 m³	586 m³		4,231 m³
台湾	4,714m³	5,801 <b>m</b> ³	1,912m <sup>3</sup>			12,427 m³
中国			15,124m <sup>3</sup>	34,743 m <sup>3</sup>	56,284m <sup>3</sup>	106,151 m <sup>3</sup>
計	6,214m <sup>3</sup>	7,579 m <sup>3</sup>	17,402 m <sup>3</sup>	35,329 m <sup>3</sup>	56,284m <sup>3</sup>	122,808 m <sup>3</sup>



佐伯港丸太積込



中津港丸太輸出

### 6. 地域材活用住宅建設促進事業

地域材に取り組む工務店の掘り起こしや高品質スギ乾燥材の梁桁等への利用促進及び普及宣伝活動 を行い、地域材の需要拡大を図った。平成27年度は 4店(21戸)の公務店へ助成。

事業区分	H23	H24	H25	H26	H27	計
住宅戸数	23戸	34戸	26戸	28戸	21戸	111戸
地域材使用量	39 m³	227m³	141 m³	154 <b>㎡</b>	105 m <sup>3</sup>	666m³



高品質乾燥材【柱】



高品質乾燥材【柱】

### 7. CLT利活用促進事業

新たな建築資材であるCLTの普及促進を図るため、県内の設計・建築産業及び林業・木材産業の関係者に対して研修会等を開催し、県内の木材産業者のCLTへの普及啓発を図った。

	H27実績
研修会開催数	5回
参 加 者 数	471名



CLT研修会



CLT東屋の設置(日田市)

### Ⅲ 県民総参加の輪を広げ、次世代へつなぐ取組

#### 1. 森林づくりボランティア活動促進事業

(1)森林づくりボランティア支援センター事業

森林ボランティア情報の収集・発信等を行い、森林ボランティア活動を支援した。

- ①ボランティア情報の収集・発信
  - ・HPによる森林ボランティア情報発信
  - 「森林づくりボランティア通信」の発行(毎月1,000部発行)
- ②森林ボランティア登録業務(H27実績)団体登録31団体、個人登録168団体
- ③センター施設を活用した森林ボランティア活動、森林環境教育の支援(H27利用実績)11団体、577人
- ④緑と森の総合実践講座の開催(H27実績)参加者数35名







HPの運営

森林づくりボランティア通信

緑と森の総合実践講座

#### (2)森林づくりボランティア活動支援事業

森林ボランティア活動を支援するため、森林ボランティア登録者に対し、森林づくり活動実績に応じてタオル・鎌・鋸などの支援物品を交付した。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	計
支援物品交付件数	53件	53件	26件	54件	31件	217件

#### (3)森林づくりボランティア技術向上事業

森林ボランティアの知識や技術向上のため、各種研修会を開催し、森林ボランティアの養成を行った。

研修内容	H23	H24	H25	H26	H27	計
【初級講座】 森林・林業の基礎知識、危険な野生生 物、自然観察など	41人	36人	23人	18人	26人	144人
【中級講座】 森林づくりの方法、多様な森の観察、道具 の使い方など			17人	17人	6人	40人
【上級講座(刈払機)】 刈払機に関する知識、点検、実技	27人	18人	29人	30人	23人	127人
【上級講座(チェンソー)】 チェンソーに関する知識、点検、実技			29人	28人	30人	87人



初級講座



上級講座(刈払機)

### (4)企業参画の森林づくり推進事業

企業が森林所有者、森林組合等と協定を結び、森林づくり活動を実施した。 平成27年度は、1社が協定を行った。

協定:1社 (楽天株式会社)

区分	H23	H24	H25	H26	H27
新規協定企業数	1社	1社	1社	0社	1社
新規協定面積	3ha	0.1ha	11.5ha	0ha	19.7ha
累計協定企業数	26社	27社	28社	28社	29社

## (5)森林づくり提案事業

NPO等の団体が自ら提案し実行する「森林づくり活動」や「森林環境教育活動」に対し助成を行い、県民総参加の森林づくりの推進や、県民意識の醸成を図ることができた。

区分	H23	H24	H25	H26	H27	計
実施団体	36団体	41団体	56団体	50団体	46団体	229団体
参加者	9,897人	10,031人	11,386人	10,542人	9,024人	50,880人



伐竹作業(大分市)



植樹作業(津久見市)

### 【森林ボランティア参加者の実績について】

5年間で延べ63,926人が森林ボランティア活動に参加した。

年度	H23	H24	H25	H26	H27	計
森林ボランティア参加者数	12,497人	12,612人	12,832人	12,902人	13,083人	63,926人

### 2. 森林環境教育推進事業

#### (1)森の先生派遣事業

次世代を担う青少年に森林や自然に対する理解を深めてもらうため、小・中・高校の授業や、保育所・幼稚園・放課後児童クラブ等が主催するイベント等に「森の先生」を派遣し、森林体験活動・木育活動を実施した。

区分	H23	H24	H25	H26	H27	計
派遣回数	37回	51回	64回	96回	98回	346回
派遣人数	123人	210人	350人	380人	431人	1,494人
体験児童数	1,797人	2,750人	3,734人	3,784人	4,164人	16,229人



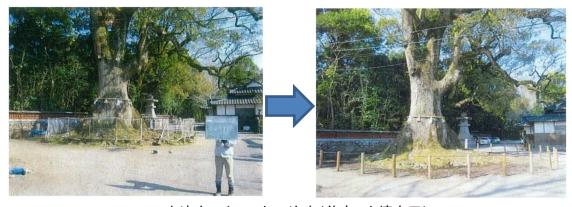


活動の様子

#### (2)名樹とのふれあい事業

県指定の特別保護樹木のうち、不健全な樹木について、剪定・古枝除去・進入防止柵設置等の治療を行い、健全な状態に誘導した。特別保護樹木は、県民が巨樹・古木と文化の関わりを学ぶ場として活用している。

(H27実績) 4本 国東市:クスノキ、ムクノキ、ケンポナシ 中津市:クスノキ



中津市のクスノキの治療(剪定、土壌完了)

### (3)次代の森林づくり活動リーダー育成研修支援事業

森林環境への意識が高く、地域において森づくり活動等を実践している子どもたちの中から「次代の森林づくり活動リーダー候補者」を選抜し、将来のリーダーとしての資質向上を図るための研修会を実施した。

#### 【研修先:屋久島】

年度	H25	H26	H27	計
研修参加者	35人	35人	35人	105人



ヤクスギランド



屋久島環境文化村センター

## (4)おおいた木育活動推進事業

県産材の木のおもちゃで遊べるコーナー等を設け、子どもたちが木に直接ふれあう機会をつくるとともに、木育に関する講座を開催することにより、森林の働きや県産材について普及を行った。



県産材の木のおもちゃで遊ぶ子ども達



木育講座を受講する大学生

#### 3. 祖母山避難小屋トイレ整備事業

登山客への利便性及び衛生環境の向上を図るため、祖母傾山五合目避難小屋に、汚物を分解処理し 浄化した水を蒸発散させる槽を備えたバイオトイレを男女各1基ずつ設置した。



全景



近景

### 4. 由布登山口環境整備事業事業

多くの登山者や観光客に対して、由布・鶴見岳自然休養林に良いイメージを持ってもらうとともに、木造施設を実際に見て触れることで県産木材の良さをPRするため、由布岳正面登山口の園地にあるトイレを改修した。また、外国人観光客の増加に対応するため多言語表記(日本語、英語、韓国語、中国語)の看板を設置した。





多言語看板(大)

多言語看板(小)

## 5. 森林環境学習促進事業

子どもから大人まで幅広く環境学習を体験し、環境学習の重要性を体感してもらうことができた。また、森林環境学習指導者を活用して、学習機会の提供や指導者を派遣することにより、自然体験活動・宿泊体験活動の促進を図ることができた。

年度	事業内容	実績(回数、参加人数等)
	ここのえエコレンジャーキッズ (森林環境調査登山等の実施)	3回 45名
	ここのえ緑の子ども園の実施	10回 249名
	森林(もり)の環境学習サポート隊の派遣	5回 369名
1107	森林環境学習スキルアップセミナー	19名
H27	「森林環境学習指導者」活用調査研究 (活動実態調査及び先進事例調査を実施)	・森林環境学習指導者に対してアンケート 調査を実施し、活動状況及び活動に関す る意見・要望等を把握。 ・「国立諫早青少年の家」へ森林環境学習 指導者を派遣し、研修を受講(参加者4 名)。
	学びと健康の森整備事業	「学びと健康の森」整備工事の実施



ここのえエコレンジャーキッズ



香々地ファミリークラブ

#### 6. ごみゼロおおいた作戦推進事業

「ごみゼロおおいた作戦」の取組を次世代に引き継ぐため、県内の子どもたちを対象に、年間を通じて自然体験活動など実体験を伴う環境学習を行う団体に対して支援を行った。

区分	H26	H27	計
採択団体	11団体	14団体	25団体
受講延人数	725人	756人	1,481人



大平山友遊エコクラブ(別府市) 「植物観察会」



アイラブグリーン大分(大分市) 「落ち葉プール」

## 7. 豊かな水環境創出事業

豊かな水環境の創出を目指すため、モデル河川で流域住民が主体となる流域会議を設立し、流域住民が行う源流域での植樹等の水環境保全活動や水循環について学ぶ研修会への支援・協働、生活排水対策の普及啓発等を実施した。



小学生による源流域での清掃活動



清流度調査

#### 8. 観光行政事務指導費

イベントや施設を活用し、効果的に大分県産材のPRを行い、更なる県産材の認知度向上を図るため、グリーンツーリズムなどの施設において、大分県産材を活用したツールを用い、森林資源豊かな大分県と県産材の良さをPRした。





大分県産材を見て、触れて、木の良さを体感できるPRツール

#### 9. 「山の日」制定記念祭

新たに国民の祝日となる「山の日(8/11)」の制定を記念し、「山の日」に向けた機運を醸成するためのプレイベントを開催した。

#### 【開催日】

平成27年8月11日(火)

#### 【開催場所】

玖珠郡九重町大字田野 阿蘇くじゅう国立公園 長者原園地ほか

#### 【開催内容】

- ①記念式典
  - ・オープニングアトラクション(九重あばれ獅子&九重樽太鼓)
  - ・全国から寄せられた「山へのメッセージ」紹介
  - ・地元コーラスグループらによる合唱「坊がつる讃歌」「山は心のふるさと」
  - ・地元小学生による、おおいた「山の日」宣言
- ②体験イベント等

健康ノルディック・ウォーク教室、九州オルレ、親子登山、自然観察会、 いきものウォッチング、巣箱づくり、丸太切り体験、生きもの展示、生きものクイズ 等

#### 【参加人数】

約300人(山岳関係者、自然保護関係者等)



地元小学生による、おおいた「山の日」宣言



体験・展示ブースでの巣箱づくり

#### 10. みんなで支える森林づくり推進事業

(1)豊かな国の森づくり大会の開催

県民総参加の森林づくりを推進するため、"第15回豊かな国の森づくり大会"を開催した。

- ·開催日 平成27年11月21日(土)
- ・開催場所 大分スポーツ公園 (大分市)
- ・大会テーマ よみがえる里山、花と緑で育つ豊かな未来
- •参加者数 500名
- 活動内容 ①植樹0.16ha(ヤマザクラ、コナラ、ヤマモモ 合計120本)
  - ②里山林整備 1.6ha (伐竹、つる切り等)
  - ③木育教室、ノルディックウォーク



植樹



里山林整備

- (2)新たな森林づくり推進体制整備事業
- ①森林づくり委員会の開催

森林環境税の適正な運用を図るため、「森林づくり委員会」を開催し、森林環境税活用事業の審議・成果の検証等を行った。



森林づくり委員会



現地視察(NBUの森)



現地視察(亀塚古墳公[

### ②森林づくり流域協議会の開催

地域における森林環境税活用事業の適正な実施を推進するため、各流域においてNPO等が行う森林づくり提案事業の審査や、事業成果の検証、森林環境税事業PRチラシの作成・配布等を行った。

	北部流域	中部流域	南部流域	西部流域	計
開催回数	2回	2回	2回	2回	回

#### ③次世代の大分森林づくりビジョン推進会議の開催

生産林・環境林の区分や低コスト育林(造林)、竹林の活用・整備などのビジョンのテーマに沿った取り組み状況並びに今後の計画について検討し、ビジョンの効果的な実施を図った。

開催回数	協議内容
10	・生産林、環境林の区分や低コスト育林(造林)等の各テーマの取組状況の検討等 ・森林づくりビジョンの推進方法の検討等

#### 11. おおいたの森林づくり広報推進事業

森林環境税活用事業の取組を広く県民に知ってもらい、「県民総参加の森林づくり」の意識醸成を図るため、各種媒体を利用し広報活動を実施した。

- (1)マスメディアによる広報
  - ①新聞広告9回
  - ②テレビ広報(「ほっとは一とOITA」「TOSゆーわくワイド」「OAB特別広報番組」)
  - ③大分県森林づくりボランティア支援センターHPの改修
  - ④Facebookページの開設(豊かな国の森林づくり)
- (2)その他の広報活動
  - ①森林環境税パンフレット作成(3,300部)
  - ②マスコットキャラクタ―もりりんの派遣(23回)



広報番組に出演



Facebookページ開設



森林環境税パンフレット

### 12. 新たな育林技術等研究開発事業

新たな育林技術の研究開発や、新たな木材等の需要拡大を目的とした研究開発事業に対して支援した。

年度	事業主体名	研究課題名·期間	研究内容·成果
H27	大分県生分解ツリー シェルター研究会	生分解性シェルター及 び木製支柱の開発 (H27年度) (新規)	循環型林業体系の構築やシカ被害の費用の軽減に向けた取組として、生分解性ツリーシェルター及び木製支柱の研究・開発を行った。今後、この事業での取組を調査、検証することにより、造林コストの低減化や生分解性シェルターの普及につながる。
	出野わさび研究会、 つえエーピー	簡易型沢わさび圃場造 成研究実証事業 (H27~28年度)(新規)	商品価値の高い根わさびの生産にむけ、沢わさびの圃 場の造成技術の確立や造成費用の軽減に取り組んだ。 造成単価:1万円/m3、通常の約25%のコストの軽減が図 れた。
	おおいた早生樹研究 会	早生樹バイオマス+α の森林づくりパイロット 事業 (H27~29年度)(新規)	国内外の早生樹の造林・利用に関する情報収集や調査研究及び普及啓発を行うことにより、早生樹を活用した次世代の森林づくりに先駆的に取り組む。早生樹の植栽を試験的に行い、生育状況を調査し、研究内容を成果発表し普及に努めた。



シェルター設置後 大分県林業試験場



沢わさびの圃場造成



沢わさびの生育状況



早生樹(センダン)の植栽



早生樹シンポジウムの開催